

494

の走る音をベクトルの上で聴く。仙ノルによってインター
諸君は、何にか夢つるから毎にワルさ。ヤアあて
こにまだ燈がついてゐる、何んのニツた、あしてはブ
ラッアワトルはあらんやあいか、ソレ自動車がおん
の、時々、まるで蛙が巣でも造った様に馬鹿々い、平
一通りではあ。どうも Internes 諸君は他人の迷惑
を笑ひ仕過さる。

二月五日(金)

エ
ビ
の
天
ぷ
ら
夕飯にエビのてんぷらに新鮮なスピニツケが出た
無論米飯は附いて居る。皆の喜びは実に純項ル達
いたと形容するに取て過言ではあからう。食後は暫く
此のテンプらとスピニツケの落で持ちまじらつた。一時
皆の憂鬱が拂拭されて明かると成つた村にも観て、
極少の Spinach 以外は、断然に口をかつた僕
でさへも嬉しかった位である。 Internes 生活には
食事が一番の慰安でもあるから、ウマイ日中食にあり着
いた場合の歓喜は凄まじい人間には想像で
きあ。

蔣
其の
歴史
論

大好物のエビのてんぷらと流しに鶏卵とミル
とで澄ましておいてはあらん此の胃が今更怒らぬ。

ラヂオ放送にて傳へられる外にふと、蔣介石が
桑港に到着したといふ。若し事実とするは今次大
戦の一大転換が、近い将来に見られるものと予想
される。蔣夫妻の渡米は疑ひもなくその内の反逆

495

に基く蒙塵と見做される。支那のノ使は身辺の危険による韜晦の連続を物語っているのだ。蔣政権の政務は日支の和平実現とある等言々をもち、併に日支の對露外交に一躍を期待されるやう。即ち独ソ軍独姦の從通となり、若しソ聯にて害れなければ、断平ソの背後に一撃を加へ独軍を援助するであらう。平は、今次日米戦に於ける日支との定石であらうてはあらず。

二月六日(土)。

午膳便所の帰途、六十歳以上とも見える二人の老人が……一人は加齢からうらうらと他は山手壽からの男……一個の Chocolate bar をめづり、会話が取りかきされた。ふたりの老人が他の老人の手には 4ヨコレートバーと発見すると、“オイ、其れはキャンデーか、今買つて来たのか” “イヤ、今貰つて来たのだ” “何んだそれ” “4ヨコレートだ” “キャンデーだ”……と言やう。而かも質問者は頗る熱心であり且つ真摯なものである。恰度子供が遊び仲間の菓物を見て羨望するやうに、傍目には可笑しくもあれば哀れでもあり、それか孫を持つ年輩者で、監禁の境遇に不自由な月日を送つてゐる人だけに、此の会話を聞いた時、自ら悲壯な感に打たれた。インターン環境の一端を如実に示して居り、どれくらい堪へよう。